

# “いのちの大切さ”を育む防災教育の推進 ～神戸市防災教育支援プログラム～

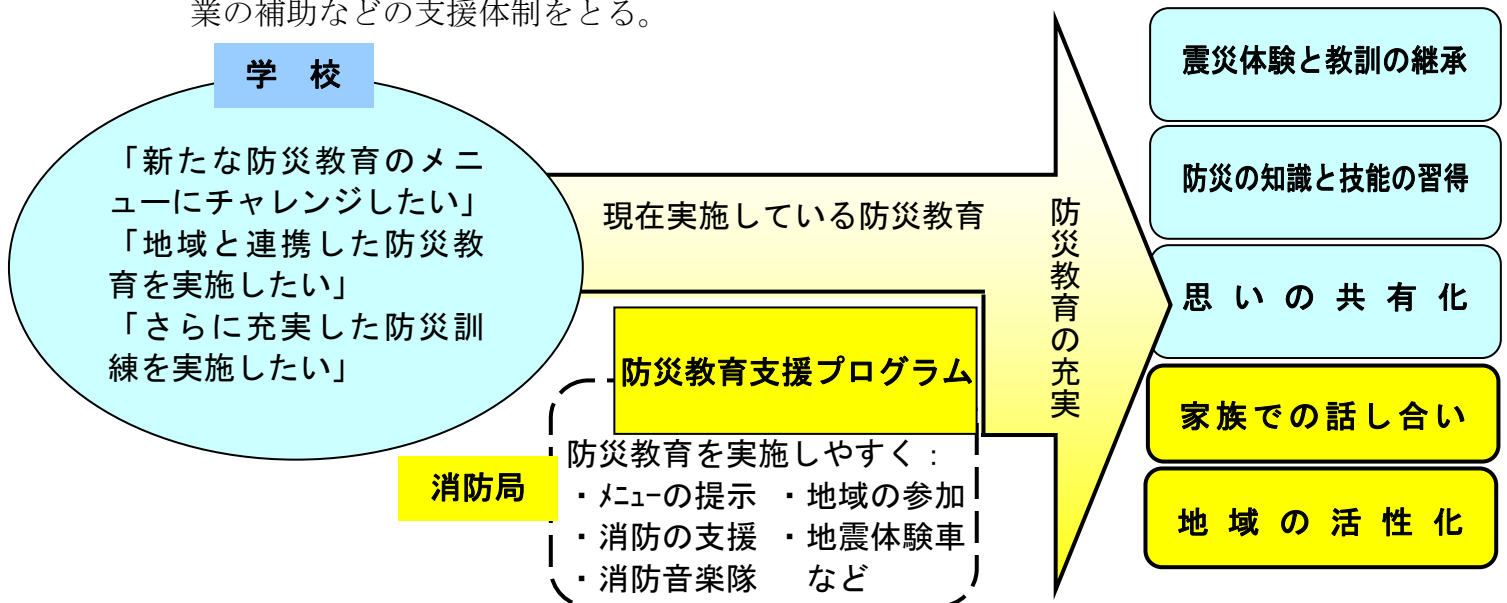
## 1 目的

震災を経験した神戸だからこそ、小学校での一貫した防災教育を行い、学校から家庭へ、家庭から地域へ、地域から学校へつなげる取り組みを、いのちの最前線で活動する消防がコーディネートすることで、“いのちの大切さ”を育むとともに学校・家庭・地域の相乗効果による地域（防災）力の向上を目指す。

## 2 具体的施策

現在行っている小学校の防災教育について、年齢に応じステップアップする目標を定め、子供がいのちの大切さを「実感できる防災教育」を、学校、防災福祉コミュニティ、消防署、消防団などが協力して行う。

消防は、事例や手法をまとめた防災教育支援プログラムの提示、消防職員による授業の補助などの支援体制をとる。



## 3 プログラムの策定

消防局が防災教育を支援したいという思いの下、平成19年10月に神戸市教育委員会、小学校教員、NPO法人プラス・アーツと合同でプロジェクトチームを立ち上げ、情報交換を進めながら防災教育支援プログラムの開発を検討してきた。

また、これと同時に市内3小学校にてプレモデル授業を行い、プログラムの検証を行った。

年度末には40を超える各種支援メニュー、資料集等からなる冊子を財団法人神戸市防災安全公社が30部作成した。



## 4 今年度の予定（平成20年度）

平成20年度は、作成したプログラムを基に支援モデル校（各区1校全12校予定）で防災教育を実施し、実績を踏まえて防災教育支援プログラムを確立し、来年度以降、条件の整った小学校から徐々に全市的に展開していく予定である。

## 5 関係部局

神戸市教育委員会事務局、危機管理室

問合せ：消防局予防課地域防災支援係 定岡・竹中（078-325-8510 直通）